

病防第61号
平成25年7月25日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

コブノメイガの発生状況（技術情報第8号）について（送付）
コブノメイガの発生状況等について、下記のとおり取りまとめましたので防除指導等に御活用ください。

記

1 発生状況

- （1）7月17～19日に実施した普通期水稻50ほ場における調査では、発生ほ場率30%（平年50.3%）、被害度0.5（平年6.1）、被害株率1.3%（平年14.3%）と平年に比べ低かった（表1、2）。
- （2）調査を行った50ほ場のうち、要防除水準（防除上の留意事項を参照）に達しているほ場は認められなかった。

2 飛来状況

- （1）フェロモントラップ調査では天草市で6月12日に初飛来を確認し、その後6月20日以降、断続的に誘殺された。合志市では7月22日まで誘殺しておらず、飛来量は平年より少なかったと思われる。
※飛来状況については防除所ホームページ「<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>」上に掲載しています。

3 防除上の留意事項

- （1）今回の調査において確認された第1世代幼虫の齢期やウンカ類の飛来状況から、主要な飛来は6月25日と考えられ、有効積算温度から推測される第1世代成虫発蛾最盛期は、6月25日起算で7月26日～8月1日頃である（表3）。
- （2）第1世代幼虫の被害株率が20%以上、または、被害葉率が0.2%以上の場合は第2世代幼虫の防除を行う。第2世代幼虫の防除適期は、本田防除の場合、粒剤が発蛾最盛期（成虫羽化期）、粉剤・液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期から1週間後）である。
- （3）ほ場毎に現在の被害株率を確認し、以下に示す要防除水準と発蛾最盛期予測を参考に防除要否、防除時期を判断する。
- （4）農薬を使用する際は、安全使用に努める。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

熊本県病虫害防除所 （熊本県農業研究センター 生産環境研究所 病虫害研究室 予察指導係） 担当：山口 TEL 096-248-6490
--

表1 発生状況調査(7月19日現在)

地域	地点	被害株率	被害度	被害度	被害株率
熊本	熊本市画図1	0.0%	0.0	0.0	0.0%
	熊本市画図2	0.0%	0.0		
	熊本市中無田1	0.0%	0.0		
	熊本市中無田2	0.0%	0.0		
	熊本市富含1	0.0%	0.0		
	熊本市富含2	0.0%	0.0		
宇城	宇城市松橋1	0.0%	0.0	0.0	0.0%
	宇城市松橋2	0.0%	0.0		
玉名	玉名市北牟田1	8.0%	3.3	0.9	2.0%
	玉名市北牟田2	0.0%	0.1		
	玉名市横島1	0.0%	0.0		
	玉名市横島2	0.0%	0.0		
鹿本	山鹿市南島1	2.0%	0.7	1.0	3.0%
	山鹿市南島2	2.0%	0.7		
	山鹿市鹿本1	12.0%	4.0		
	山鹿市鹿本2	0.0%	0.0		
	山鹿市菊鹿1	2.0%	0.7		
	山鹿市菊鹿2	0.0%	0.0		
菊池	菊池市赤星1	0.0%	0.0	0.0	0.0%
	菊池市赤星2	0.0%	0.0		
	大津町陣内1	0.0%	0.0		
	大津町陣内2	0.0%	0.0		
阿蘇	阿蘇市内牧1	0.0%	0.0	0.0	0.0%
	阿蘇市内牧2	0.0%	0.0		
	阿蘇市山田1	0.0%	0.0		
	阿蘇市山田2	0.0%	0.0		
	南小国町1	0.0%	0.0		
	南小国町2	0.0%	0.0		
	南阿蘇村1	0.0%	0.0		
	南阿蘇村2	0.0%	0.0		
上益城	御船町吹野1	2.0%	0.7	0.0	0.0%
	御船町吹野2	10.0%	4.0		
	甲佐町1	2.0%	1.3		
	甲佐町2	0.0%	0.0		
	嘉島町下仲間1	0.0%	0.0		
	嘉島町下仲間2	0.0%	0.0		
	嘉島町六嘉1	0.0%	0.0		
	嘉島町六嘉2	0.0%	0.0		
	山都町上寺1	2.0%	0.7		
山都町上寺2	0.0%	0.0			
八代	八代市高田1	0.0%	0.0	0.6	1.0%
	八代市高田2	0.0%	0.0		
	八代市鏡1	0.0%	0.0		
	八代市鏡2	0.0%	0.0		
	氷川町若洲1	4.0%	2.7		
	氷川町若洲2	2.0%	0.7		
芦北	芦北町百木1	0.0%	0.0	1.3	4.0%
	芦北町百木2	2.0%	0.7		
	芦北町佐敷1	8.0%	2.7		
	芦北町佐敷2	6.0%	2.0		
平均		1.3%	0.5	(発生ほ場率: 30.0%)	

表2 過去の発生状況(7月中～下旬)

年 度	発生ほ場率	被害度	被害株率
H14	23.1%	0.4	1.1%
H15	71.4%	15.5	24.2%
H16	44.4%	1.1	3.3%
H17	20.0%	0.8	1.8%
H18	70.0%	5.1	11.0%
H19	86.8%	31.0	86.8%
H20	49.4%	1.5	2.9%
H21	69.4%	4.1	8.2%
H22	39.6%	0.8	2.1%
H23	0.0%	0.0	0.0%
H24	52.0%	1.2	3.0%
平年値 (H14～23)	47.8%	5.6	13.1%

表 3

予想されるコブノメイガの発蛾最盛期^{注)}

(平成 25 年 7 月 23 日現在)

地点	第 1 世代発蛾最盛期 ^{注)}	第 2 世代発蛾最盛期 ^{注)}
三角	7 月 27～29 日	8 月 24～28 日
岱明	7 月 26～28 日	8 月 23～26 日
鹿北	7 月 30 日～8 月 1 日	8 月 30 日～9 月 4 日
菊池	7 月 27～30 日	8 月 26～30 日
阿蘇 乙姫	8 月 4～7 日	-
甲佐	7 月 27～30 日	8 月 26～29 日
八代	7 月 26～28 日	8 月 24～27 日
水俣	7 月 27～30 日	8 月 26～29 日
人吉	7 月 29～31 日	8 月 29 日～9 月 1 日
本渡	7 月 27～30 日	8 月 26～30 日

注)・6 月 25 日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温 (7 月 22 日までは今年のデータ、7 月 23 日以降は平年値) を基に、有効積算温度で今後の生育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度 (日度)	発育 0 点 (°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2